

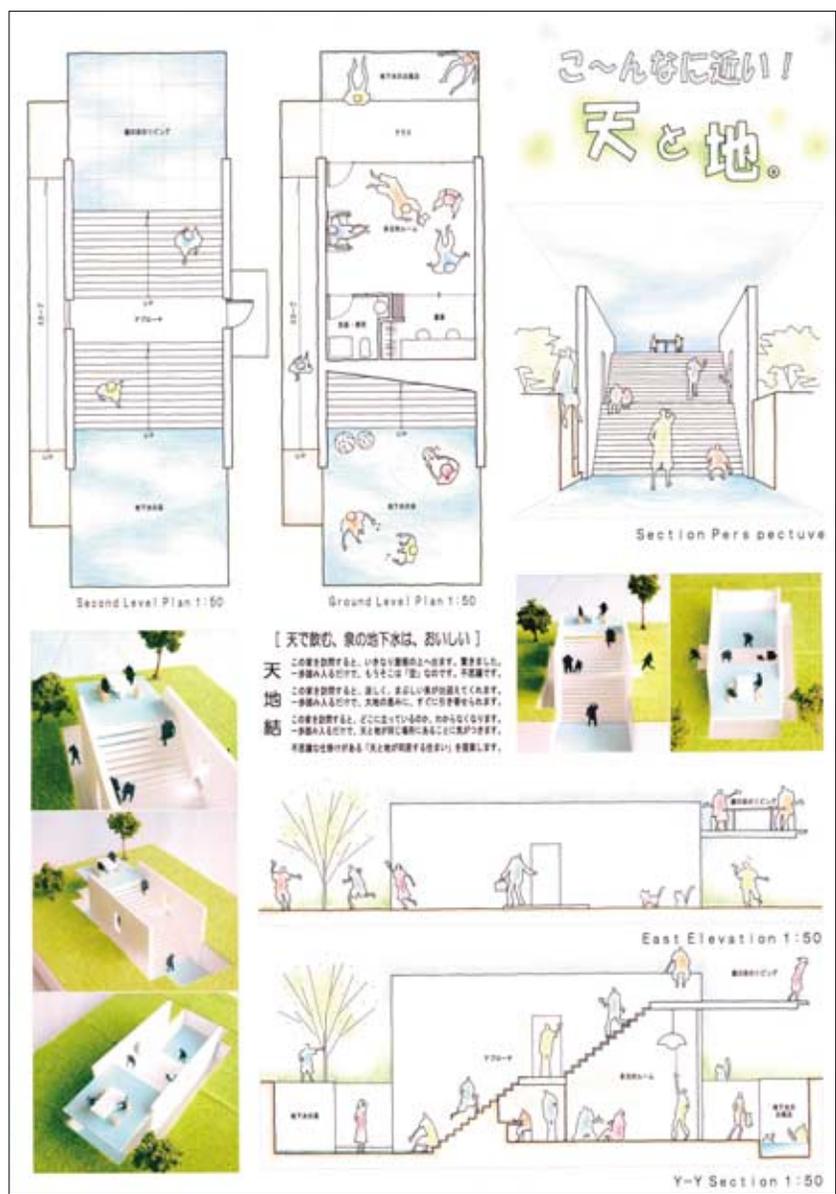


# 第22回 建築コンペ

## 日常を超えて空間と時間を構想することで、住宅は可能性を持つ

# 68校から295点応募「天と地を結ぶ家」

### 1等 西川 博美さん 受賞作品



**講評** 建築設計で最も重要なことは、新たな構想。それを、多くの作品に見ることができ楽しかった。

建築を設計するために最も重要なことは、いかなる建物にするかという考え、つまり建築に対する新たな構想だと思えます。特に住宅のような人々の日常生活を通じて身近に関わる建築では、人々が日々生きて生活することに対応すると同時に、更にこの日常を超えて空間と時間を構想する必要があります。そのことにより住宅は新たな可能性を持ち得るのです。



**坂本一成**  
(建築家・東京工業大学大学院教授)

1943年・東京に生まれる。66年・東京工業大学建築学科卒業。71年・東京工業大学大学院博士課程を経て武蔵野美術大学建築学科専任講師。77年・同助教授。83年・東京工業大学助教授。91年・同教授、現在に至る。

主な作品に、水無瀬の町家(1970年)、代田の町家(1976年)、House F(1988年)、コモンシティ星田(1991-1992年)、House SA(1999年)、egota house A(2004年)、QUICO神宮前(2006年)がある。

建築を設計するために最も重要なことは、いかなる建物にするかという考え、つまり建築に対する新たな構想だと思えます。特に住宅のような人々の日常生活を通じて身近に関わる建築では、人々が日々生きて生活することに対応すると同時に、更にこの日常を超えて空間と時間を構想する必要があります。そのことにより住宅は新たな可能性を持ち得るのです。

「天と地を結ぶ家」という主題は、住宅の歴史的意味をもつ内容であり、また住宅に内在する構成的意味を示すことから、過去から連続した未来の時間と空間を求めた考え方の座標となつたはず。

一等の西川博美さんの「こ〜んちに近い!天と地」は「天と地を結ぶ家」という多目的ルーム、書斎等の内

部空間が、この大階段と直

接出入りできる関係を持つ

計画になっていけば、より

的確な案になったと思いま

す。

二等の櫻井駿士さんの

「天と地を結ぶ身体」は今回

の応募案の中で最も野心的

なプロジェクトでした。こ

の計画は、モノリスである

板状の柱で床等の構成材を

支えるという単純な構成に

よるものですが、そのモノ

リスが大地に根ざし天に伸

びることで、新たな大地と

天を形成し、そこに生活者

が関わる事で天と地が結ば

れるという形而上学的な作

品です。現代的にソフィス

トケイトされた空間と存在

感あふれる構成が印象的で

評価できました。

人はだれも住宅に住んで

います。そして多くの人に

とっては、その住宅自体を

意識する事なく、無意識的

に住んでいます。今回の設

計競技は、専門家になり始

めた皆さんが住宅とはどの

ようなものかを、意識的に

考えてもらうものでした。

それは単に間取りといった

使用上の器以上のものでは

あり、また外観上の着せ替え

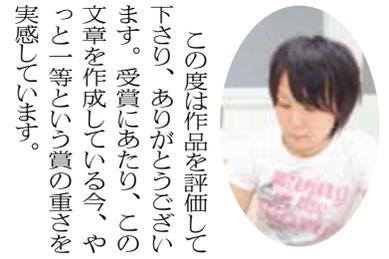
の家以上のものであるとい

うことを考えてくれたはず

です。そのことを多くの作

品に見ることができたこと

は楽しいことでした。



この度は作品を評価して下さり、ありがとうございます。受賞にあたり、この文章を作成している今、やっと一等という賞の重さを実感しています。

私が今回の設計競技に参加を決め、作品を完成させるまでには、本当に多くの時間を費やして悩みました。考えれば考える程、作品の完成が見えなくなることもありました。しかし、空を見上げてみると、いつもそこには綺麗な青空が広がっていました。こんなに大きな空と、どこまでも続

くこの大地を一つに結ぶ、そんな「最高の欲張り」な家に私自身が住みたいと思つたことが、こだわりとなつて、この作品を完成させることが出来ました。

今回設計競技に取り組むことで、本当に沢山のことを学びました。そのことを忘れず、今後も建築の勉強に励んでいきたいと思つています。

**受賞の言葉**

建築を学ぶ全国の高校生を対象に実施される日本工業大学建築設計競技は今年で第22回となる。審査委員長に建築家の坂本一成氏(東京工業大学大学院教授)を迎え、「天と地を結ぶ家」を課題に開催。68校より295点の応募があった。入賞者の作品は11月1日〜3日まで、本学大学祭期間中にLCCセンターで展示され、2日には同センター・マルチメディア教室で表彰式と講評、スライドレクチャーが行われる。

**青空と、建築と、私。**

滋賀県立安曇川高等学校 建築デザイン学科(3年) 西川 博美

- ### 日本工業大学建築設計競技入賞者
- 佳作
    - 静岡県立科学技術高等学校
    - 静岡県立科学技術高等学校
    - 静岡県立科学技術高等学校
    - 国立呉工業高等専門学校
    - 神戸市立科学技術高等学校
    - 大阪市立工芸高等学校
    - 神戸市立科学技術高等学校
  - 審査員賞
    - 国立呉工業高等専門学校
    - 兵庫県立神戸工業高等学校
    - 堺市立工業高等学校
  - 奨励賞
    - 山形県立山形工業高等学校
    - 静岡県立島田工業高等学校
    - 大阪市立工芸高等学校
    - 岡山県立津山工業高等学校
    - 愛媛県立東予高等学校
  - 奨励賞
    - 岩手県立盛岡工業高等学校
    - 三重県立四日市工業高等学校
    - 滋賀県立安曇川高等学校
    - 滋賀県立安曇川高等学校
    - 岡山県立津山工業高等学校
    - 東京都立蔵前工業高等学校
    - 岡山県立津山工業高等学校
    - 関東第一高等学校
    - 三重県立四日市工業高等学校
    - 滋賀県立安曇川高等学校
    - 名古屋市立工芸高等学校
    - 山梨県立甲府工業高等学校
    - 三重県立四日市工業高等学校
    - 滋賀県立安曇川高等学校
    - 名古屋市立工芸高等学校
    - 山梨県立甲府工業高等学校
    - 三重県立四日市工業高等学校
    - 滋賀県立安曇川高等学校

岩手県立盛岡工業高等学校 阿部 慎也

三重県立四日市工業高等学校 伊藤 瑞希

滋賀県立安曇川高等学校 大江 昂

滋賀県立安曇川高等学校 澤 静季

岡山県立津山工業高等学校 長瀧 渉

東京都立蔵前工業高等学校 西村 啓汰

岡山県立津山工業高等学校 浜田 あゆ美

関東第一高等学校 宮内 浩吏

三重県立四日市工業高等学校 武藤 裕司

滋賀県立安曇川高等学校 森本 淳平

名古屋市立工芸高等学校 山口 大介

山梨県立甲府工業高等学校 依田 彩加

三重県立四日市工業高等学校 六谷 敏希

平成二十年度

秋季学位記授与式・入学式



学位記授与式ではなむけの言葉をまくる柳澤学長



秋季入学式で挨拶する大川理事長

去る9月20日、平成20年度学位記授与式と留学生別科修了証書授与式が情報工...

西村教授に電気学会から

優秀技術活動賞ならびに電気規格調査会功労賞



本年5月、超高電圧研究所長・西村誠介教授が、電気学会から優秀技術...

活動最盛期の秋学期

専門職大学院だより

秋学期では、本年度のリキウム大幅改訂に伴って新設された7科目を含め...

専門職大学院 オープンキャンパス日程
2008 11/8(土) 2009 1/17(土) 2/14(土)
説明会、授業見学、パネル討論会、キャンパスツアー等を予定

専門職大学院 2009年度 入試日程
第1回募集 第2回募集 第3回募集
出願期間 平成20年11/10(月) 平成21年1/13(火) 平成21年2/10(火)



はプリティッシュ・コロンビア大学で英会話を学ぶほか、ホームステイやバンクーバー市内で現地の方とコミュニケーションを図る等...

第41期決算・第42期予算
日本工業大学の財政状況について

一・はじめに
第四十一期決算、第四十二期予算が公認会計士および法人監事の監査を受け、法人理事会・評議員会で承認決定されました...

(別表3) 貸借対照表
資産の部
科目 H19年度 H18年度 増減
固定資産 37,082,645 35,097,798 1,984,847

(別表1) 資金収支計算書
科目 H19年度 H18年度 増減
収入の部
学生生徒等納付金収入 6,749,745 6,852,275 △102,529

(別表4) 資金収支計算書
科目 H20年度 H19年度 増減
収入の部
学生生徒等納付金収入 6,074,645 6,282,660 △208,015

(別表2) 消費収支計算書
科目 H19年度 H18年度 増減
消費収入の部
消費収入の部合計 7,154,073 7,074,194 79,879

(別表5) 消費収支計算書の主要項目の分析表
主要項目の分析比率(%)
H19年度 H18年度 増減
補助金/帰属収入 7.71 8.05 △0.34

平成十七年から始まった学園創立一〇〇周年という大事業も無事に終了し、学生のアメニティ環境は益々充実いたしました...

また(別表5)にて「消費収支計算書」主要項目の分析表を添付いたしましたので、詳細につきましては別表をご参照ください。
二・平成十九年度決算について
学校法人会計基準に基づいた財務諸表には次の三表があります...

11/15(土) 第12回スターリングテクノロジー開催



今年も付属高校はノーマルクラスに参加

自作スターリングエンジンを搭載した車両でスピードとアイデアを競う「第12回スターリングテクノロジー」が、今年も本学を会場として11月15日(土)に開催される。



大会に出場したフォーミュラカー

9月10日から13日にかけて静岡県袋井市で行われた全日本学生フォーミュラ大会に、本学として初めて機械工学科の小倉勝研究室(主要メンバーはエンジン工房)のチームが

第6回 全日本学生フォーミュラ大会にエンジン工房(小倉研)から初参加

出場した。メンバーは大学院生1人、4年生10人である。本大会は学生が自ら構想・設計・製作した車両による競技会で、自主的なものづくりの総合能力を養成する場である。



予選突破者同士の対戦の様子

去る9月13日(土)に、本学でマイクロロボットコンテスト高校生大会が開催された。本コンテストは、1インチ角のロボットが所定のコースを自動的に走行し、1・省資源をめざすエコロ時間を競うもの。

去る9月13日(土)に、本学でマイクロロボットコンテスト高校生大会が開催された。本コンテストは、1インチ角のロボットが所定のコースを自動的に走行し、1・省資源をめざすエコロ時間を競うもの。

9/13(土) 第2回 日本工業大学マイクロロボコン高校生大会

箕輪進修高校・井上大樹君が二連覇を達成

第2回 日本工業大学 マイクロロボコン高校生大会 結果

Table with 4 columns: 順位・賞など, 高校名, 操作者, ロボット名. Lists winners and participants from various schools.

その後、高校関係者に好評を博し、第2回大会を開催する運びとなった。今回は全国から125台近くがエントリーし、参加者は引率の先生等を含め200人近くにのぼった。

山東経貿職業学院来訪 平成20年8月22日(金)、山東経貿職業学院(中国)より校務委員会主席・孫国偉氏ら5名が、同学院を3年制の大学として工学系を強化する目的で来学した。



山東経貿職業学院一行と記念撮影

学内施設の充実でキャンパスはより快適に

- 第1食堂省エネ化 ●駐輪場建設 ●本館サッシ更新 ●新教育システムの導入 等

●工事関係 秋学期開講に備え、以下4件の工事が行われ、キャンパスはより快適になった。

②駐輪場建設 平成20年度後援会特別事業として、建築学科棟前に200台収容の自転車置場を設置した。

④体育館の改修 夏休みに、体育館正面玄関上部のサッシをアルミに取り替える工事と、壁のカーテンウォールの張替工事を実施した。

●新教育システムの導入 大型設備の導入は、学内の申請・ヒヤリングの手続きを経て採択される。

●人事異動 【任用】(8月1日付) 葛西幸一助手(インテリアデザインラボ) 昭和44年6月2日生まれ。平成5年3月E S P M J 卒業。前田ギタール(トク卒業。前田中木工所勤務)。

●国外出張(8月~10月) 平岡麻里講師(共通教育系) 出張先「カナダ(8/10~9/2) 目的「平成20年度英会話カナダ特別セミナー」。

●環境配慮の観点から再生紙を使用しております。 次大会にて論文発表●波多野純教授(建築学科) 出張先「台湾(10/23~26) 目的「第11回文化遺産(古蹟)歴史建築集落及び文化景観」。

9/30~10/1(財) 日本高等教育評価機構による実地調査 本学は、平成19年9月に(財)日本高等教育評価機構へ認証評価の申請をし、同機構が定める自己評価報告書作成ガイド等に従い自己点検・評価を実施し、本年6月に自己評価報告書を作成した。

第3回ビジネスプランコンテスト 学生起業家育成プログラムのビジネスプランコンテストも今年で3回目。21海道研修旅行を行った。10月31日には、学生会館で表彰式が行われ、その後、マ

11/23(日) 吹奏楽団 定期演奏会 映画音楽をテーマに 本学吹奏楽団の第25回定期演奏会が11月23日(日)に春日部市民文化会館大ホールにて開催される。テーマは「映画音楽をテーマに」。

教員免許更新制について 目的は、定期的に最新の知識技術を身に付けることで、必修12時間と選択18時間、計30時間の講習の受講が必要。本学では、高校「工業」中学校「技術」の教員を主な対象とし、平成21年8月に「必修二選択」のいずれの講座も開講する予定。実施要項は、来春、本学および文部科学省のウェブページに掲載される。

9/30(土) 日本工業大学 マイクロロボコン高校生大会 結果

その後、高校関係者に好評を博し、第2回大会を開催する運びとなった。今回は全国から125台近くがエントリーし、参加者は引率の先生等を含め200人近くにのぼった。

●新教育システムの導入 大型設備の導入は、学内の申請・ヒヤリングの手続きを経て採択される。

●人事異動 【任用】(8月1日付) 葛西幸一助手(インテリアデザインラボ) 昭和44年6月2日生まれ。平成5年3月E S P M J 卒業。前田ギタール(トク卒業。前田中木工所勤務)。

●国外出張(8月~10月) 平岡麻里講師(共通教育系) 出張先「カナダ(8/10~9/2) 目的「平成20年度英会話カナダ特別セミナー」。

●環境配慮の観点から再生紙を使用しております。 次大会にて論文発表●波多野純教授(建築学科) 出張先「台湾(10/23~26) 目的「第11回文化遺産(古蹟)歴史建築集落及び文化景観」。

編集後記 長い夏休みが終わり、9月22日から秋季の学期が始まった。夏休み期間、卒業研究・計画の中間発表に向けて大学に通い続けた人、クラブ等の合宿で己の限界に挑戦した人、趣味に集中して達成感を得た人、アルバイトをして素敵な出会いがあった人、海外に出て日本について考えた人、ひたすら勉強した人、教え上げればいるらうと想像している。ある意味、人生の中で一瞬に過ぎる4年間をどのように充実して過ごすかは、各人の勝手であり特段のルールはないけれど、本学の大人になるための貴重な体験期間(猶予期間)であることは間違いなく思う。